

モニタリング結果報告書  
(令和元年度)

資料1-4①

1. 施設概要

施設名	真鶴港		
所在地	足柄下郡真鶴町真鶴21		
サイトURL	<a href="http://www.town.manazuru.kanagawa.jp/">http://www.town.manazuru.kanagawa.jp/</a> (真鶴町ホームページ)		
根拠条例	港湾の設置及び管理等に関する条例		
設置目的(設置時期)	港湾法に基づき、秩序ある整備と適正な運営を図るため(昭和39年8月)		
指定管理者名	真鶴町		
指定期間	H31.4.1~R6.3.31 (2019年) (2024年)	施設所管課 (事務所)	砂防海岸課 (県西土木事務所 小田原土木センター)

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>当施設は港湾行政事業の実施について、県の港湾整備行政との一体性が特に求められる中で、協定書及び計画書に基づき、利用承認業務や維持管理業務、津波避難訓練等を実施している。日々の巡視や清掃・小規模修繕により、港湾環境の保全に努めていると認められるため、今後も継続して業務に取り組まれない。なお、利用状況がC評価、利用者の満足度がS評価、収支状況がB評価となったため、3項目評価はB評価となった。</p>	
<p>&lt;各項目の詳細説明&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>◆管理運営等の状況 年間を通じて、船舶の岸壁利用やヨット係留等に係る利用承認業務、港湾施設維持管理業務の実施を行った。岸壁利用44件、係留78件、入出港届49件の受理を行った。</li><li>◆利用状況 利用者数は、2,000件(ヨット出艇届ベース)と、目標達成率61.6%となった。民間運営のマリーナが施設建替えのため休業しているため、利用者数は伸び悩んだ。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、3月の利用者数も減となった。</li><li>◆利用者の満足度 2019年11月に実施し、上位2段階の回答割合が約93%となったため、S評価とした。ただし、アンケートのサンプル数が多いとは言い難いため、正確な評価の反映とは言い難く、配布対象を増やすなどの対応を望む。</li><li>◆収支状況 光熱水費等の節減があったものの、人件費等の増により、収支差額は、497千円のマイナスとなった。収支比率が97.26%となったため、B評価とした。収支差額の理由は台風被災に伴う港湾内清掃委託料及びAED購入代が約半数を占めている(290千円)。</li><li>◆苦情・要望等 該当なし。</li><li>◆事故・不祥事等 該当なし。</li><li>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督者からの指摘事項はない。</li></ul>	
3項目評価	S:極めて良好 A:良好 B:一部改善が必要 C:抜本的な改善が必要 ※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう
B	

### 3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	なし
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	適宜	なし
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有 <input checked="" type="radio"/> 無	指導・改善勧告等の内容
		なし

### 4. 管理運営等の状況

[ 指定管理業務 ]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
船舶の岸壁利用やヨット係留等に 係る利用承認業務	年間を通じて、岸壁利用は計44 件、係留は計78件の利用承認業 務を行った。入出港届について も、計49件の受理を行った。	継続して取り組まれた い。
港湾施設維持管理業務の実施	真鶴港は観光客等が多く訪れる ことから、琴ヶ浜の公衆トイレ などの清掃及び巡視業務等を2 名体制で実施。	継続して取り組まれた い。
2019年11月9日開催の「海のまち 豊漁豊作祭」において、利用者 に対するアンケートを実施した。	左記アンケートを実施した結 果、15名から回答があった。来 訪者は、神奈川県内の方が87% と大半を占めた。	分析にあたり、アン ケートのサンプル数が 少ないと判断される。

[ 参考：自主事業 ]

事業計画の主な内容	実施状況等
真鶴港みなとまちづくり協議会の開催	2019年10月9日に「海のまち豊漁豊作祭」に向 けた協議会を開催。11月9日の祭時に、ヨット 体験乗船を行った。
ヨットオーナーズクラブと意見交換会を開催	2019年8月20日、真鶴港ヨットオーナーズクラ ブと県、町の間で意見交換会を実施した。

## 5. 利用状況

評価	≪評価の目安≫ 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。
C	社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。

	前々年度	前年度	令和元年度
利用者数※	2,869	3,249	2,000
対前年度比		113.2%	61.6%
目標値	-	-	3,248
目標達成率	目標値無し	目標値無し	61.6%

目標値の設定根拠： 提案書の目標値

利用者数の算出方法（対象）： ヨット出艇届出数

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由 主にヨット係留施設であるため



## 7. 収支状況

評価	≪評価の目安≫ 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
B	

[ 指定管理業務 ]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	16,936	0	0	0	16,936	16,936	0	
	決算	16,936	0	0	0	16,936	17,109	-173	98.99%
前年度	当初予算	16,965	0	0	0	16,965	16,965	0	
	決算	16,965	0	0	0	16,965	17,806	-841	95.28%
令和元年度	当初予算	17,647	0	0	0	17,647	17,647	0	
	決算	17,647	0	0	0	17,647	18,144	-497	97.26%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

令和元年度 /                      前年度 /                      前々年度 /

<備考>

8. 苦情・要望等  該当なし

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	件		
	件		
職員対応	件		
	件		
事業内容	件		
	件		
その他	件		
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等  該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。